

## 第3学年 国語科学習指導案

1. 単元名 「今に生きる言葉～『論語』セレクション～」  
“学びて時にこれを習ふー『論語』”（光村図書）からの関連学習
2. 単元について

### 《単元観》

本単元は、「伝統的な言語文化」（古典）として位置づけられており、漢文独特の文体を書き下し文に直し、音読させることで、言葉の意味や内容を習得することをねらいとしている。また「論語」を学ぶことで、「学ぶとはどういうことか」「人間関係をどのように築いていくべきか」といった、人としての生き方や考え方を自分の問題として考える、という学びになる。中学三年という時期は、自分や自分の将来について考え、自分の考えを打ち出そうとする時期である。従って、この時期に、日本人が古来から親しんできた「論語」に出会わせることは大変有意義であり、自己の座右の銘として、励みとなる言葉や心のよりどころになる言葉に出会うことは、生徒にとって素晴らしい体験となり得ると思われる。

### 《指導観》

今回の授業では、教科書にある四章句について学習したうえで、発展学習として「論語」にある四つの言葉を紹介する。また今回の学習ではジグソー法を用い、四つの論語をエキスパートごとに学習し、読みを深めさせるようにする。エキスパートで学んできた学習内容を班のメンバーに伝え、お互いの学習の成果を分かち合えるようにしたい。そして二千五百年前の「論語」がなぜ今も広く読まれているのか、という学習課題について話し合うことで、自分のものの見方や考え方を深めさせるような学習活動にしたい。また協同学習を通して生徒同士の望ましいかかわりが構築できるよう、授業の中で支援していきたい。

### 3. 本授業の視点

#### 1 生徒同士のかかわり合い

①課題解決に向かって、多様な意見を出し合いながら学習を展開する。

#### 2 授業のユニバーサルデザイン化

①学習活動（話し合い）の流れを示す。

②視覚的支援の工夫（話し合いの過程がわかりやすいように色分けをしたカードで流れを示す）

#### 3 言語活動の充実

④考えを伝え合うことで、自分の考えを発展させること。

### 4. 本題材における評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読むこと		伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
昔の人たちの生き方や考え方について、自分たちの生活と関連づけて考え、感想を話し合ったり、文章にまとめたりしている。	①文脈における語句の意味をとらえ音読を通して、漢文特有の文体を読んでいる。	②「論語」の言葉を読み、孔子の人間の生き方についての観察や思索をとらえ、自分のものの見方や考え方を深めている。	「論語」の古典における位置づけを理解し、「論語」に親しんでいる。

### 5 指導と評価の計画

時	主たる学習活動	評価の観点	評価方法
1	○学習の目標と見通しを確認する。 ○孔子や「論語」について基礎知識をもち、「論語」を書き下し文に直して音読する。	〔国語への関心・意欲・態度〕 〔読むこと①〕	観察、 ワークシート
2	○孔子のものの見方や考え方にふれ、四つの章句について自分なりにまとめ、話し合う。	〔読むこと②〕	観察、 ワークシート
3 (本時)	○「論語」の他の章句を紹介し、内容や孔子の教えについて考える。 ○「論語」が今もなお広く読まれている理由について話し合い、「論語」の位置づけについて考える。	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	観察、 ワークシート

6. 本時のねらい

- 「論語」の言葉を読み、人間の生き方について自分たちの生活と結びつけながら考えを深めることができる。

7.本時の学習

(1) 準備

- ・教科書 ・学習の手引き ・ワークシート ・発表用フリップ
- ・流れを示したカード ・「論語」について

(2) 学習活動の展開および学びのプラン

学習内容・学習活動	形態	指導上の留意点と評価
1. 本時の学習の流れとめあてを確認する。	一斉	・学習の流れとめあてを知り、学習の見通しを持つ。ワークシートを使って手順を示し、見通しを持たせやすくする。※視点②-① ②
2. 班（4人）でのエキスパートを決め、自分の担当した「論語」を読む。	班	☆生徒と教材をつなぐ ・4つの「論語」シートをそれぞれの担当に配り、それがどんな内容なのか、まずは個人で <u>十分に</u> 考えさせる。 <b>【改善】</b> この場面に限らず自力解決場面については十分な時間を確保するようにした。
3. エキスパート（A・B・C・D）ごとに集まり、担当した「論語」について意味や内容について話し合う。	グループ	☆生徒同士をつなぐ <b>生徒同士の関わり合い → ジグソー法</b> ・手順に従って学習を進める。 ①グループで音読する。 ②注釈を手がかりにして、その「論語」で孔子が述べようとしていることを考える。 ③自分たちの生活や体験を重ねながら、その「論語」が「どんな場面」で、「どんな人」に使うと効果的かを話し合う。※視点①-①

**学習課題 論語が「今に生きる言葉」となっている理由を考えよう**

**10の視点①**  
論語の意味を漠然と理解するだけでなく、「孔子の言葉がなぜ現代でも人々の生活の中に生きているのか」について考えることで、論語の内容をより身近に捉えることができます。  
生徒自身が考えてみたくなる、友達の考えを聞いてみたくなる課題を工夫することで、生徒の主体的な学びを引き出すことが大切です。

**【改善】**学習課題について「今に生きる言葉」という表現が中学生には理解しにくいと考え、『論語』が今も広く読まれる理由を考えよう」というわかりやすい表現にしていたが、あえて軋み合い(葛藤や対立)が生まれる学習課題にしたほうがよいと考えて変更した。

4. 班に戻り、担当した「論語」を紹介しあい、学習課題に取り組む。  
○班のメンバーに、意味と孔子の教えを伝える。

・「論語」を伝える際には、フリップを使いながらわかりやすく伝えるようにアドバイスする。  
・聞き手の生徒は、エキスパートの話す内容をしっかり聞き取ってから、メモをとるようにさせる。

<p>○4つの「論語」で学んだことをもとに テーマについて意見を交換する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・A～Dについて聞き取ったことをもとにして、テーマについて話し合い、ワークシートにまとめる。</li> </ul>
<p><b>10の視点⑤</b> 「自分が担当した論語を分かりやすく班の友達に紹介したい」という目的意識をもち、協働的に課題解決を図ることで、漢文に苦手意識のある生徒たちも、主体的に読解に取り組むことができるようになります。 また、孔子の教えと自分たちの生活との関連についての意見交換をすることで、「現代に通じるもの見方や考え方」についての捉えを、より深めることが期待できます。</p> <p>5. 話し合いの中で出た意見を発表する。 ○各班の代表者から意見を聞く。</p>	<p>一斉</p>	<div data-bbox="847 255 1481 349" style="border: 1px solid black; background-color: #f0e6ff; padding: 5px;"> <p><b>【改善】</b>生徒の話し合いが深まるよう、それぞれのワークシートの注釈を削除した。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班の中で出た意見をまとめ、自分の言葉で発表するようにアドバイスする。※視点③-④</li> <li>・紀元前の教訓が今なお広く読まれている理由について考える。</li> <li>・「論語」には私たちが大切にしていることや考えるべきことが書かれていることなどを確認する。</li> </ul>
<p>6. 本単元で学び得たことを書く。</p>	<p>個人</p>	<p><b>☆学びを個に返す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにわかったことや考えたことをまとめる。</li> </ul>